

認定NPO法人川口市民環境会議 寄贈用SDGs図書リスト

この度、株式会社銀座コージーコーナー様より当法人にご寄付いただいたお金を活用して、市内小学校に図書を寄贈させていただきます。希望する図書を、下記リストの中から選んでください。

★印：環境関連図書

NO	図書名	内容	定価（税込）	備考
1	「わたしがかわる みらいもかわるSDGsはじめての一步」 原琴乃著 汐文社	外務省の担当官がつくった初のSDGs絵本。SDGsの基本的な理念を理解し、具体的な行動を身につけていくことができます。よみきかせ。わかりやすく、短時間で読めるため、授業でのよみきかせに使いやすい。はじめてSDGsに取り組むとき年齢を問わず使用できる。	1,980円 27cm/36頁	SDGs 全般 
2	「12歳までに身につけたいSDGsの超さぼん」 蟹江憲史著 朝日新聞社	マンガ＋ワーク＋図イラストつき解説の三つの手段で、知りたかったテーマがすっきりわかるシリーズ。タイムスリップしてきたネコロボットミライが、小学5年生のメイ、悟、理人へSDGsに取り組むためのヒントを与える。SDGsを自分事としてとらえ、身近な存在にするための本。	1,100円 B5判/128頁	SDGs 全般 
3	「10歳からの図解でわかるSDGs「17の目標」と「自分にできること」がわかる本 まなぶっく」 平本督太郎著 メイツ出版	SDGsって何？「17の目標」を達成するとどんないいことがあるの？どんなことをすればいいの？SDGs（持続可能な開発目標）のさまざまな疑問を、イラストや写真とともにやさしく解決します。持続可能な開発目標(SDGs)のさまざまな「疑問」を、この1冊でやさしく解決します。 2030年までに達成すべき「17の目標」を理解して、幸せで楽しい未来をつくらう！日本には「もったいない」の精神など、世界に発信できる良い取り組みがたくさんあります。それを進化させれば、私たちは世界全体をも変えていけます。	1,991円 21cm/128頁	SDGs 全般 
4	「SDGs入門 未来を変えるみんなのために」 蟹江憲史著 岩波書店	「未来のカタチ」を示し、環境やエネルギー、貧困などと向き合うSDGsとは何か？未来世代のための入門書。 SDGs（持続可能な開発目標）は国連で合意された「未来のカタチ」です。環境、エネルギー、貧困など様々な課題と向き合い、「だれ一人取り残されない」という理念のもとに生まれたSDGsとは何か？経済・社会・環境にまたがる17の目標を若い世代に向けてわかりやすく解説します。「岩波ジュニアスタートボックス」。	1,595円 19cm/122頁	SDGs 全般 

5	<p>「SDGs国連 世界の未来を変えるための17の目標 改訂新版」</p> <p>日能研教務部</p>	<p>各国は2030年まで、誰も置き去りにしないことを確保しながら、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処するための取り組みを進めることとなります。持続可能な開発目標(SDGs)」を多くの小学生にも知ってもらい、さらに自分で考え、取り組んでほしいという願いをこめて刊行されました。写真や図も多く使用。大人の方のSDGs入門書としても最適です。</p>	<p>1,320円 26cm/127頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
6	<p>「おはなしSDGs 未来からの伝言」</p> <p>那須田淳, 梶山直美著 講談社</p>	<p>話題のSDGsとはなにか? その考え方や17の目標についてやさしく解説。「おはなしSDGs」シリーズをより楽しむための、また自分たちになにができるか考えるきっかけになる1冊です。雨の水曜日、バス停で雨宿りをしていた小学5年生の紗綾、大悟、郡司の3人組は、子ネコに誘われて、「子ども近未来デザイン研究所」に迷いこむ。</p>	<p>1,485円 22cm/96頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
7	<p>「大人も知らない!?SDGsなぜなにクイズ」</p> <p>笹谷秀光監修 宝島社</p>	<p>「SDGs(持続可能な開発目標)」がクイズ形式で楽しく学べる入門書。「世界で学校に行くことができない子どもは、どれくらいいる?」「気候変動によって生きていけない生物は何種類?」など、クイズを解きながらSDGsが理解できます。巻末の「SDGsアイデア&アクションノート」は書き込み式なので、自分ごととしてSDGsを考えるきっかけになります。子どもから大人まで楽しみながらSDGsを学べる一冊。</p>	<p>1,430円 21cm/143頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
8	<p>「お笑い芸人と学ぶ13歳からのSDGs」</p> <p>たかまつなな著 くもん出版</p>	<p>本書では、SDGsをやさしく、スッキリ解説します! 環境問題や人権問題など、SDGsが扱う内容をどこか遠い話として捉えている人もいるのではないのでしょうか。けれども、どの問題も私たちの生活と無関係ではありません。そこで本書では、身の回りに起こりそうな話題を用いながら「SDGsの自分ごと化」を目指しています。</p>	<p>1,650円 19cm/143頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
9	<p>「マークで学ぶSDGs 学校で見つかるマーク」</p> <p>蟹江 憲史著 ほるぷ出版</p>	<p>SDGsには17の目標がありますが、範囲が多岐にわたるため、なかなか具体的に理解することが難しいところがあります。この本では、身近なところで見かけるさまざまなマークを見開きで紹介し、それがSDGsのどの目標とリンクしているかを解説。身近なことからSDGsを学ぶことができるシリーズです。この巻では、学校で見つけられるマークとして、「非常口マーク」「ベルマーク」「キッズデザインマーク」などを紹介。</p>	<p>3,080円 A4変判/36頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 

10	<p>「マークで学ぶSDGs 街で見つかるマーク」</p> <p>蟹江憲史著 ほるぷ出版</p>	<p>今、世界中が協力している、「だれも置き去りにしない」世界をつくる目標のことです。世界には、さまざまな問題をかかえ、困っている人々があります。人々を守ることは、地球の環境を守ることにもつながります。自分ひとりでは達成できないと思えないような目標も、子どもから大人まで、たくさんの人やモノ、しくみと、直接的・間接的につながることで、だれでも実現できるのです。DGsと関係しているモノは身近にたくさんある。子ども110番のステッカー、ほじょ犬マークなど、街で見つけられる、さまざまなところについているマークの意味とSDGsとのつながりを解説する。</p>	<p>3,080円 A4変判/36頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
11	<p>「マークで学ぶSDGs 家で見つかるマーク」</p> <p>蟹江憲史著 ほるぷ出版</p>	<p>SDGsという言葉を知ったことはありますか？今、世界中が協力している、「だれも置き去りにしない」世界をつくる目標のことです。身近なことからSDGsを学ぶことができるシリーズです。この巻では、家で見つけられるマークとして、「国際フェアトレード認証ラベル」「有機JASマーク」「レッドカップマーク」などを紹介。</p>	<p>3,080円 A4変判/36頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
12	<p>「SDGsぬまっち式アクション100 1学校編」</p> <p>沼田昌弘監修 鈴木出版</p>	<p>貧困、不平等、環境破壊…。世界中で起きているたくさん問題を解決するために立てられた17の目標、SDGs。「持ち物マーキング」「学校ピカピカ作戦」など、目標達成につながるさまざまなアクションを紹介する。</p>	<p>3,300円 31cm/39頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
13	<p>「SDGsぬまっち式アクション100 2まち編」</p> <p>沼田昌弘監修 鈴木出版</p>	<p>貧困、不平等、環境破壊…。世界中で起きているたくさん問題を解決するために立てられた17の目標、SDGs。「地元ダイビング」「まちの図書館活用術」など、目標達成につながるさまざまなアクションを紹介する。</p>	<p>3,300円 31cm/39頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
14	<p>「SDGsぬまっち式アクション100 3家族編」</p> <p>沼田昌弘監修 鈴木出版</p>	<p>貧困、不平等、環境破壊…。世界中で起きているたくさん問題を解決するために立てられた17の目標、SDGs。「早寝早起きエコ達人」「ごみわけパーティー」など、目標達成につながるさまざまなアクションを紹介する。</p>	<p>3,300円 31cm/39頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
15	<p>「暮らしのなかのSDGs 今と未来をつなげるものさし」</p> <p>アノニマ・スタジオ著 KTC中央出版</p>	<p>持続可能な未来はひとりひとりの暮らし方からはじまります。この本は、とても読みやすく、身近なところから暮らしを見つめなおすヒントをたくさんくれます。16人のさまざまに生きる人たちが登場して、暮らしのちょっとした習慣や考えを短文で寄せているのですが、これが多彩で素晴らしいのです。</p>	<p>1,650円 21cm/126頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 

16	<p>「世界がもし100人の村だったら」</p> <p>池田香代子, C.ダグラス・ラミス 著</p> <p>マガジンハウス</p>	<p>世界には63億人の人がいますが、もしもそれを100人の村に縮めるとどうなるのでしょうか。いろいろな人がいるこの村ではあなたとは違う人を理解すること相手があるがままに受け入れることそしてなによりそういうことを知ることがとても大切です。インターネットで世界中を駆けめぐった現代の民話。</p>	922円 20cm	<p>SDGs 全般</p> 
17	<p>「世界がもし100人の村だったら ③たべもの編」</p> <p>池田香代子著</p> <p>マガジンハウス</p>	<p>『世界がもし100人の村だったら』第3弾。世界には65億人のひとがいますが、もしこの世界を100人に縮めて食べ物の世界を見ると？ 日本はこの村でいちばん肉と魚を輸入し、しかも村一番の残飯大国、農薬も一番使っているのです……。</p>	1,047円 20cm/103頁	<p>SDGs 全般</p> 
18	<p>「世界がもし100人の村だったら ④子ども編」</p> <p>池田香代子著</p> <p>マガジンハウス</p>	<p>子どもが子ども時代を奪われることは、人類が生き延びるのに欠かせないしあわせの記憶が奪われることです。22億人の世界の子どものたちの現在と希望は？</p>	1,047円 20cm/61頁	<p>SDGs 全般</p> 
19	<p>「世界を変えるための50の小さな革命」</p> <p>ピエルドメニコ・バッカラリオ、フェデリーコ・タッディア 著</p> <p>太郎次郎社エディタス</p>	<p>イタリアの児童文学作家・バッカラリオらが贈る、冒険ガイド第3弾。ペットボトルの水を買うのをやめる、もっと辞書を使う、紙を再利用する…。世界を変えるための50の小さな革命を…文句を言ってるひまはない。行動するのはキミだ。環境破壊、貧困、スマホ依存、ウソ、偏見……。このまちがった世の中にガマンがならない？ もしそう思ってるなら、文句なんか言ってるひまはない。行動するのはキミだ。同志を集めて革命団を結成し、世界をよりよく変える50の革命を起こせ！</p>	1,760円 19cm/189頁	<p>SDGs 全般</p> 
20	<p>「地球のことをおしえてあげる」</p> <p>ソフィー・ブラッコール, 横山和江 著</p> <p>鈴木出版</p>	<p>絵本作家によるわたしたちのふるさとである地球を紹介する物語。宇宙からくる、だれかさんへ。地球がどんなところかしてる？ぼくがきみに、おしえてあげる。地球のすべてを紹介しながら、同じ星に存在する仲間として、あらゆるものと共に生きていこうとよびかけます。ニューヨークタイムズ2020子どもの本ベスト25に選出!</p>	1,760円 30cm/73頁	<p>SDGs 全般</p> 

21	<p>「地球について知っておくべき100のこと」</p> <p>竹内薫監修 小学館</p>	<p>わたしたちが住む「地球」。人間をはじめ、植物や動物を育む地球は、宇宙から見れば小さな星に過ぎませんが、極めてめずらしい星でもあります。これほどたくさんの生物が生きていくためには、大変な偶然がうまく重ならなければ成り立ちません。地球とはそんなスゴイ星なのです。その地球の秘密を、天文学、地質学、生態学、気象学などあらゆる面から取り上げて紹介。地球温暖化、環境破壊問題、乱獲による生物の絶滅など、子どもたちに知って欲しい事柄にも踏み込んで紹介。難しい事象もインフォグラフィックの効果で、すいすい頭に入ってくる楽しい本です。</p>	<p>1,650円 B5変型/128頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
22	<p>「日本のすがた 表とグラフで見る社会科資料集2021」</p> <p>公益財団法人矢野恒太記念会編集</p>	<p>主に小学校高学年生のために書かれた本です。今の子どもたちが生きていく世の中は、国際化が進むことは間違いありません。世界を学ぶことは、まず私達が暮らしている日本のありのままのすがたを知ることから始まります。小学生向けではありますが、日本の国土、経済、社会を知るうえで重要なデータが、この本の中にきっちりそろっています。開いていただくと、私たちが過去に教科書で学んだ時代から、変わり続けている「日本のすがた」に気づかれるのではないかと思います。大人にも再発見してほしい日本のすがたを、統計データをもとにした表とグラフとやさしい解説で一冊にまとめました。</p>	<p>1,100円 A5判/224頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
23 ★	<p>「ハチドリのはとしづく」</p> <p>辻信一監修 光文社</p>	<p>「私は、私にできることをしているだけ」これは、ちいさな力の大切さを教えてくれる南米アンデス地方の古くてあたらしいお話です。森林火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリに対して、森から逃げた動物たちは「そんなことして何になるのだ」と笑います。ハチドリは「私は、私にできることをしているだけ」と答えました……。</p>	<p>1,257円 20cm/83頁</p>	
24 ★	<p>「風をつかまえたウィリアム」</p> <p>ウィリアム・カムクワンバ著 さ・え・ら書房</p>	<p>アフリカのもっともまずしい国のひとつマラウィで生まれ育ったウィリアム少年は、図書館で出会った1冊の本を読んで、手づくりの風力発電に挑戦することを決め、実行に移した真実の物語。アメリカの大学で学ぶことになった。いまは、再生可能エネルギーをつかって、村のために発電やかんがい装置をつくろうと計画している。何かを実現したいと思ったら、まず始めること、そして決してあきらめないこと。それがウィリアムの信念だ。</p>	<p>1,540円 29×23.5cm/32頁</p>	

<p>25 ★</p>	<p>「気温が一度上がるとどうなるの？」</p> <p>竹内薫監修 西村書店</p>	<p>これまでの150年で、すでに地球の気温は平均で1度上がりました。前半では、地球上の気候や「温室効果」のしくみ、これまでにどんな気候変動があったかについて説明します。後半では、わたしたち人間の進歩の過程で産業革命がおこり、農業や工業が発展し、食生活や移動の手段などが大きく変わったことから、自然環境にどのような影響が出ているのかを幅広い視点でとらえ、豊富なイラストで解説します。</p>	<p>2,090円 21cm/89頁</p>	
<p>26 ★</p>	<p>「気候変動から世界をまもる30の方法: 私たちのクライメート・ジャスティス!」</p> <p>国際環境NGO FoE Japan 合同出版</p>	<p>子どもといっしょに気候変動を知る・学ぶ入門書。各国の最前線で活躍する研究者・活動家が、子ども向けにわかりやすく解説!約100点の写真と図表で、気候変動の問題がよくわかる!世界中で深刻化する気候変動の問題を理解し、行動するためのツールに。</p>	<p>1,980円 21cm/175頁</p>	
<p>27 ★</p>	<p>「地球温暖化を解決したいーエネルギーをどう選ぶ?」</p> <p>小西雅子著 岩波書店</p>	<p>地球温暖化の予測を知ることは自分の命を守ること。猛暑や大洪水、干ばつ、飢餓を引き起こす温暖化を解決するカギはエネルギーの選び方。二酸化炭素を出さない水力、風力、太陽光などの再生可能エネルギー、そして石油、石炭、天然ガス、原子力など、それぞれのエネルギーの長所や短所をわかりやすく解説します。どのエネルギーをどう選ぶか、みんなで考えよう。さまざまなエネルギーの特徴を知ろう。 1 温暖化対策とエネルギーの関係 2 エネルギーの特徴を学ぼう 3 考えてみよう エネルギー選択と温室効果ガス削減 4 ディベートをしてみよう。「岩波ジュニアスタートボックス」。</p>	<p>1,595円 B6版/126頁</p>	
<p>28 ★</p>	<p>「ソウの森とポテトチップス」</p> <p>横塚眞己人著 そうえん社</p>	<p>世界で3番めに大きな南の島・ボルネオ島のソウたちの命があぶない。わたしたちが何気なく食べているポテトチップス、毎日つかっているシャンプーや洗ざい...これらがソウたちの命をおびやかしているって、ほんと?—熱帯雨林の森がへっているボルネオ島の真実と、わたしたちのくらしとのつながりを知る写真絵本。</p>	<p>1,430円 22× 29cm/30頁</p>	
<p>29 ★</p>	<p>「プラスチックのうみ」</p> <p>ミシェル・ロード著 小学館</p>	<p>小学5年生が翻訳した絵本 この絵本では、人間が出したプラスチックごみが、どのように海を汚し、海に暮らす生き物に影響を及ぼしているのか、そしてきれいな海を取り戻すにはどうしたらいいのかを、美しいイラストと分かりやすい言葉で伝えます。</p>	<p>1,650円 B12取/36頁</p>	

<p>30 ★</p>	<p>「ハブラシのサミー 海の中のプラスチック」</p> <p>M・G・レナード著 化学同人</p>	<p>ソフィアは黄色いハブラシが大好きです。名前はサミーです。ところがサミーの毛先がぐしゃぐしゃになると、おかあさんはすててしまったのです。サミーの旅がはじまりました。たくさんのプラスチックのゴミにあいました。サミーはなんとかソフィアのもとにかえりたい！サミーのたいへんな旅からみえてくるのは、プラスチックのいろいろとまったところ。さあ、どうしたらいいでしょう。プラスチックごみの現状を知り、環境へ配慮する気持ちを育てます。</p>	<p>1,980円 28cm</p>	
<p>31 ★</p>	<p>「プラスチック・プラネット」</p> <p>ジョージア・アムソン＝ブラッドショー著 評論社</p>	<p>「海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する」の課題になっているプラスチック問題解決のために何が必要か、私たちに何が出来るのか、を分かりやすく絵本風に解説している。プラスチックの基礎知識、歴史、現状から私たちが日常で出来る解決法などを写真やイラストを効果的に活用し、見開き1テーマ設定で展開している。小学生から中学生が環境問題などの自由研究に取組にはうってつけの一冊だ。</p>	<p>2,420円 29cm/48頁</p>	
<p>32 ★</p>	<p>「プラスチックモンスターをやっつけよう! きみが地球のためにできること」</p> <p>高田秀重監修 クレヨンハウス</p>	<p>プラスチックは便利だけれど、生きものからみつき、ちいさくなってエサのふりをし、毒を出し、ほかの有害物質とくっつきパワーアップも! そんな「プラスチックモンスター」の特徴をわかりやすく伝えます。「蜜ろうラップのつくり方」「浜辺でマイクロプラスチックを見つける実験」などもたっぷり紹介。絵本感覚で読める本書は、おとなの入門書にも。たのしみながら、暮らしの中のプラスチックを減らせます。</p>	<p>1,760円 23cm/95頁</p>	
<p>33 ★</p>	<p>「スラムにひびくバイオリン ゴミを楽器に変えたオーケストラ」</p> <p>スーザン・フッド著 汐文社</p>	<p>パラグアイの貧しいまち、カテウラ。鼻をつくにおいがする、ごみ処理場のあるこのまちから、びっくりするようなことがおこるとは、思いもよらなかった。ゴミの山には、美しい音楽が埋もれていた…。貧しい町の住人は、ゴミをあさり、わずかなお金を得て生活しています。バイオリンに憧れているアーダに、廃材で楽器を作ってくれる人が現れて…実話に基づくお話。</p>	<p>1,980円 26cm/40頁</p>	
<p>34 ★</p>	<p>「ごみ育 日本一楽しいごみの分別の本」</p> <p>マシガンズ滝沢秀一著 太田出版</p>	<p>50問クイズ式、覚えやすい難易度順! TV出演も多数、話題の“ごみ清掃員芸人”が贈る、未来への“ごみ”とのつきあい方。使い終わったカイロは何ごみ? ピザの箱は? 乾燥剤や保冷剤はどう捨てる? 最終処分場はあと何年もつ? そして・・・“ごみ”そのものを減らすには? この本で、一緒に『ごみ育(いく)』を始めてみませんか?</p>	<p>1,210円 21cm/132頁</p>	

<p>35 ★</p>	<p>「やっぱりこのゴミは収集できません」</p> <p>マシガンズ滝沢秀一著 白夜書房</p>	<p>「ゴミの出し方で人生が変わる!」定収入を得るためにゴミ清掃員を始めた、マシガンズ・滝沢秀一の書下ろしエッセイ。今作も、理解不能な怪奇ゴミに怪事件、金持ちゴミの分析や食品ロスの実態など、キューッと詰め込んだ渾身の一作。笑ったあとに、自分の出したゴミについて考えること必至です。緊急事態宣言下にゴミ清掃員は何を見て何を感じたのか、コロナ禍のゴミ清掃員現場も掲載。</p>	<p>1,430円 19cm/191頁</p>	
<p>36 ★</p>	<p>「もったいない」</p> <p>プラネット・リンク著 マガジンハウス</p>	<p>2004年ノーベル平和賞受賞者でケニア共和国環境副大臣、ワンガリ・マータイさんが日本で知り、感銘をうけた言葉「もったいない」。ごみ削減、再使用、再利用の精神につながるこの日本語をマータイさんは環境保護の合言葉「MOTTAINAI」として今、世界に広めようとしている。この本は冒頭にそのマータイさんの言葉を紹介、日常生活のなかからさまざまな「もったいない」エピソードを挙げて、絵と文でわかりやすく説明していく。「食事を残すのはもったいない。ごはんは最後の一粒までいただく」「〈おさがり〉はまだ充分使えるものをもったいないから生かす、というリサイクルの風習」など、全14項目。どれも、「もったいない」というすばらしい精神を今の日本人が忘れていることを教えてくれる。</p>	<p>1,100円 20cm/77頁</p>	
<p>37 ★</p>	<p>「うみのむこうは」</p> <p>五味太郎著 絵本館</p>	<p>浜で海を見ている子ども。子どもは海の向こうのことを想像してみる。思いつく限り想像した光景が海の上のスクリーンに映し出される。畑、あるいはビルがいっぱいの都市。それともお家がいっぱいの町。そこには自分と同じ子どもがたくさんいるかもね。想像する楽しさがあふれる絵本。</p>	<p>1,320円 238× 210mm/28頁</p>	
<p>38 ★</p>	<p>「ウルド昆虫記 バッタを倒しにアフリカへ」</p> <p>前野ウルド浩太郎著 光文社新書</p>	<p>ファーブルのような昆虫学者になるため、世界をバッタの害から救うため、アフリカに向かった若きハカセの冒険物語。</p>	<p>1,980円 21cm/391頁</p>	
<p>39 ★</p>	<p>「地球がうみだす土のはなし」</p> <p>大西健夫, 龍澤彩, 西山竜平著 福音館書店</p>	<p>土の原料は火山灰や岩石ですが、それだけでは土になりません。とけだした成分がねん土になり、そこに生きもののかげらやフンなどがまざって、少しずつ変化して……長い長い年月を経て、ようやく土がうまれます。植物は土に根をはり、水や養分をすいあげます。成長した植物は、多くの動物の食べ物やすみかとなります。命を終えた生きものは、やがて土の一部となります。土は多くの生きものの命を育み、巡らせているのです。科学絵本。</p>	<p>1,430円 31cm/32頁</p>	

<p>40 ★</p>	<p>「土をつくる生きものたち」</p> <p>谷本雄治著 岩崎書店</p>	<p>雑木林の落葉や、動物の死骸、糞などを、土にかえていく生きものたちのはたらきを精密なイラストとリズムカルな文章で興味深く紹介した科学絵本。落ち葉を細かくするダンゴムシ、けものの糞を土にかえすセンチコガネなどなど、土づくりに一役買っている生き物たちが続々登場。雑木林を歩きたくなる1冊。</p>	<p>1,540円 29cm/32頁</p>	
<p>41 ★</p>	<p>「信じられない現実のうんこ科学図鑑」</p> <p>増田まもる編 東京書籍</p>	<p>うんこは何でできている? 今までされたうんこの量は? うんこを食べる動物たち うんこはどこに行く? おしっこって何? 一生のうちにするおならの量は? など 医学、動物、科学、宇宙、環境など幅広いテーマに沿ってうんこ、おしっこ、おならをわかりやすく解説。動物や人間のうんこについて驚きの真実を図解で紹介する新感覚図鑑!</p>	<p>1,540円 29cm/64頁</p>	
<p>42 ★</p>	<p>「100年後の水を守る」</p> <p>橋本淳司著 文研出版</p>	<p>水不足はアジアやアフリカの問題で、自分には関係ないと思っている人がまだ多くいますが、そんなことはありません。一人一人が自分たちの水を末ながく使っていくには、どうしたらよいかを考える時期にきています。著者の水ジャーナリストとしての活動をお話ししながら、将来の水を守る方法をいっしょに考えます。 1.水を五感で楽しむ(水の色は何色なのだろう:カナディアン・ロッキーにあこがれる ほか)/水問題の現場へ(水は「薬」じゃない:H₂Oのことしか書いてない ほか)/学校での水の授業(「水の授業」に挑戦!;「話す」のではなく「伝える」 ほか)/中国の水不足と節水教育(酸性雨をふらせるもの:中国と足尾銅山 ほか)/水のルールをつくる(湧き水をくみにくる人々;そもそも水はだれのもの? ほか)/水をゆっくりと流す(雨水を活用しよう:ほったらかしの森 ほか)/水のルールをつくる(湧き水をくみにくる人々;そもそも水はだれのもの? ほか)/水をゆっくりと流す(雨水を活用しよう:ほったらかしの森 ほか)</p>	<p>1,540円 22cm/162頁</p>	
<p>43 ★</p>	<p>「水とトイレがなかったら」</p> <p>石崎洋司/下平けいすけ著 講談社</p>	<p>夏休み、田舎のおじいさんの家に遊びに行った春樹。おじいさんの家のトイレは、いまだに「ぼっとん便所」。しかもそこからくみあげた下肥で農作物を作っているらしい。そんなトイレを汚いと思う春樹に、トイレに苦労してきた世界の歴史を語る。そして、おじいさんお手製のタイムマシン(?)で、むかしのパリやローマ、江戸の町の水とトイレをめぐる旅に出かけるのだが…!? 蛇口から水が出る。家にシャワートイレがある。これって、ふつうじゃないの? 物語をとおして、SDGsがよくわかる! 物語の背景を、事実によって裏付けられたグラフや図表によって学習できます。巻末の解説でSDGsの17のゴールについて解説</p>	<p>1,485円 22cm/80頁</p>	

<p>44 ★</p>	<p>「すごすぎる天気の本鑑 空のふしぎがすべてわかる！」</p> <p>荒木健太郎著 KADOKAWA</p>	<p>雲、雨、雪、虹、台風、竜巻など空（気象）にまつわる、おもしろくてためになる知識をやさしく紹介。映画『天気の子』の気象監修者としても有名な荒木健太郎氏が、天気や気象にまつわるっておきのネタを教えてください。積乱雲の自虐的ともいえる性質、虹は半円形ではないこと、雨滴のてっぺんはとがっていない……などなど、思わず「そうなんだ！」とってしまうようなトピックが盛りだくさん。子どもも大人も楽しく読むことができます。近年の豪雨、巨大台風、大雪にまつわる話題も豊富で、「天気・気象のなぜ？」が一気にわかります。</p>	<p>1,375円 19cm/175頁</p>	
<p>45 ★</p>	<p>「センス・オブ・ワンダー」</p> <p>レイチェル・カーソン著 新潮社</p>	<p>子どもたちへの一番大切な贈り物。自然の美しいもの、未知なるもの、神秘的なものに目を見張る感性（センス・オブ・ワンダー）を育むために子どもと一緒に自然を探索し、発見の喜び味わわせることが大切であると教えている。「沈黙の春」の著者の最後のメッセージ。</p>	<p>1,540円 20cm/60頁</p>	 
<p>46 ★</p>	<p>「目で見るとSDGs時代の環境問題」</p> <p>ジェス・フレンチ著 さ・え・ら書房</p>	<p>わたしたち人間は毎日、何らかのゴミを生み出しています。生ゴミから、排気ガス、古くなった電子機器まで、こういう廃棄物はどこへ行き、地球にどんな影響をあたえているのでしょうか？SDGs時代をむかえる今、地球環境はかつてないほど悪化しています。本書は、大気汚染からプラスチックごみ、食品ロスなど、世界中で抱えている環境問題の事例やその原因、対策を、写真やイラストでわかりやすく解説します。</p>	<p>3,300円 29cm/72頁</p>	     
<p>47 ★</p>	<p>「こども環境学」</p> <p>朝岡幸彦監修 新星出版社</p>	<p>異常気象はなぜ増えたの？北極の水がとけているって本当？いま、地球では何が起きているのでしょうか。私たちが住んでいるこの地球は、41億年という大昔から少しずつ変わり続けてきました。しかし、ここ数百年間の人間の活動によって、環境は急激に変化してきています。人間が地球の資源を使いすぎたり、自然を破壊したりして、生態系に大きな影響をもたらしているのです。このままでは、地球で生きていくことができなくなるかもしれません。「環境学」とは、私たちがとりまく生命やモノのつながりを知り、どう行動するのか考えることです。この本では、SDGs(持続可能な開発目標)の土台となる環境問題を、小学生向けにゼロから解説しています。スーパーのレジ袋や、給食の食べ残しなど身近な話題を取り上げているので、環境について考えるきっかけに最適。</p>	<p>1,650円 A5変型判 /208頁</p>	     

<p>48 ★</p>	<p>「池上彰のニュースに登場する世界の環境問題 1 気候変動」</p> <p>池上彰監修 さ・え・ら書房</p>	<p>環境問題に関するニュースをその背景とともに紹介。1では、気候の予測、サイクロンによる多数の死者、世界中で起きている大干ばつ、絶滅の危機に瀕している動物などを取り上げ、気候変動にどう立ち向かうかを考える。</p>	<p>2,530円 29cm/31頁</p>	
<p>49 ★</p>	<p>「池上彰のニュースに登場する世界の環境問題 2水」</p> <p>池上彰監修 さ・え・ら書房</p>	<p>環境問題に関するニュースをその背景とともに紹介。2では、干ばつによる水不足や、水の汚れなど、人々が直面する水に関する問題を取り上げ、限られた水をどのように使えばいいのかを考える。</p>	<p>2,530円 29cm/31頁</p>	
<p>50 ★</p>	<p>「池上彰のニュースに登場する世界の環境問題 3食糧」</p> <p>池上彰監修 さ・え・ら書房</p>	<p>環境問題に関するニュースをその背景とともに紹介。3では、いきすぎた農業・漁業、飢餓が起きる原因など、食糧に関する多くの問題を取り上げ、地球規模の食糧危機をおさえるためにできることを考える。</p>	<p>2,530円 29cm/31頁</p>	
<p>51 ★</p>	<p>「池上彰のニュースに登場する世界の環境問題 4ゴミ」</p> <p>池上彰監修 さ・え・ら書房</p>	<p>環境問題に関するニュースをその背景とともに紹介。4では、豊かな国で出される大量のゴミ、プラスチック包装の問題、リサイクルなど、ゴミに関する多くの問題を取り上げ、ゴミの量をへらすためにできることを考える。</p>	<p>2,530円 29cm/31頁</p>	
<p>52 ★</p>	<p>「池上彰のニュースに登場する世界の環境問題 10エネルギー」</p> <p>池上彰監修 さ・え・ら書房</p>	<p>環境問題に関するニュースをその背景とともに紹介。10では、バイオ燃料、燃料電池、太陽光など、新しいエネルギーを取り上げ、地球規模のエネルギー危機を乗り越え、地球温暖化をおくらせるためにできることを考える。</p>	<p>2,530円 29cm/31頁</p>	
<p>53</p>	<p>「ランドセルは海を越えて」</p> <p>内堀たけし著 ポプラ社</p>	<p>日本では、小学校に入学するときに当たり前準備するランドセル。使い終えたランドセルに、ノート、えんぴつ、クレヨン等の文具を詰めて、世界でもっとも物資が不足している国のひとつであるアフガニスタンの子どもたちにプレゼント。アフガニスタンの子どもたちの学校生活を紹介する写真絵本。一部の小学4年生の国語の教科書でも取り上げられました。</p>	<p>1,540円 26.5cm x 22cm /41頁</p>	
<p>54</p>	<p>「マララさんこんにちは世界でいちばん勇敢な少女へ」</p> <p>ローズマリー・マカーニー著 西村書店</p>	<p>史上最年少17歳、マララ・ユスフザイさんノーベル平和賞受賞!パキスタンに暮らしていたマララは、学校に通いたいのそんだために、武装集団タリバンに銃撃されました。そのときからマララは世界中の人々に注目されるようになりました。マララの勇気は、世界中の女の子たちの権利を守る声になったのです。</p>	<p>1,320円 B4変型判/32頁</p>	

<p>55 「ねえさんの青いヒジャブ」</p> <p>イブティハージ・ムハンマド著 BI出版</p>	<p>ねえさんが選んだ青いヒジャブ。身に着けると、ねえさんはまるでプリンセスみたい。でも、そんなねえさんのヒジャブを悪く言ったり、笑ったりする子もいる。いもうとのファイザーは、ねえさんの姿に、強さと希望を感じ……。イスラム教徒の女性が髪のおおつのに使うヒジャブ。そのヒジャブを身に着けてオリンピックに出場した初めてのアメリカ人選手、イブティハージ・ムハンマドの作品です。さかいめのない、空と海の青のように、偏見や差別のない社会を願ってかかれた作品です。</p>	<p>1,760円 27cm/33頁</p>	
<p>56 「カカ・ムラド～ナカムラのおじさん」</p> <p>ガフラワ著 双葉社</p>	<p>この本は、中村さんに助けてもらったことを後世に語り継ぐために、アフガニスタンで出版された絵本、『カカ・ムラド～ナカムラのおじさん』は、中村医師がアフガニスタンで行ってきたこと、事実をもとに描かれた創作です。診療所を建てて病気を治したり、日照りが続いて乾いてしまった土地に水をひいて緑に変えたり——。中村哲さんの志を受け取ったアフガニスタンの人々の思い、またアフガニスタンに寄せられた日本からの思い、2つの思いがひとつの形になった1冊です。</p>	<p>1,650円 22cm/80頁</p>	
<p>57 「希望の一滴 中村哲、アフガン最期の言葉」</p> <p>中村哲著 西日本新聞社</p>	<p>治療よりも水と食料が必要だ。1600本の井戸を掘り、65万人の命を支える用水路を建設した医師・中村哲の活動を、彼の言葉と数々の写真で振り返る飽食・不寛容・気候変動。この世を生きる日本人が読むべき1冊。アフガンの暮らし・自然を感じる写真をふんだんに掲載。オールカラー。アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師の絶筆を収録。沙漠化した大地に緑をよみがえらせた記録と、豊かな日本の私たちに生き方を問う言葉が綴られる。</p>	<p>1,650円 21cm/191頁</p>	
<p>58 「トイレをつくる未来をつくる」</p> <p>会田法行著 ポプラ社</p>	<p>東ティモールでは、今トイレを新設しています。トイレは衛生環境を改善し、人々の健康を保ちます。その活動を紹介した写真絵本。日本ではあたりまえにあるトイレですが、とても大切なものだって知っていましたか？東ティモールでは不衛生な環境が、子どもたちの多くが下痢やコレラ、赤痢などの病気にかかる原因となっています。その環境を変えてくれるのが、トイレです。トイレをつくることで、みんなが健康になり、元気に学校に通い、集中して勉強ができるようになります。そんな子どもたちが、東ティモールという生まれたばかりの国の未来を築いていくのです。トイレづくりは、子どもたちの未来をつくることなのです。</p>	<p>1,650円 27cm/41頁</p>	
<p>59 「みずをくむプリンセス」</p> <p>スーザン・ヴァーデ著 さ・え・ら書房</p>	<p>世界には学校に行かぬ働いているこどもたちがたくさんいます。子どもとはいえ、大変な仕事をさせられています。ずっとずっととおくまで、きょうもわたしは水をくみにいく—アフリカの、ある水くみ少女の一日をえがいた絵本です。</p>	<p>1,650円 25cm/40頁</p>	

60	<p>「ぼくの見た戦争 2003年イラク」</p> <p>高橋邦典著 ポプラ社</p>	<p>戦場では人の死がとてつとそばにある。2003年3月。イラクが大量破壊兵器をもっているという理由で、戦争になるかもしれない緊張感が高まりつつあった。アメリカ軍に従軍した日本人カメラマンの記録。</p>	<p>1,430円 27cm/55頁</p>	
61	<p>「世界中の子どもたちの権利を守る30の方法」</p> <p>認定NPO法人 国際子ども権利センター編 合同出版</p>	<p>子どもたちが直面する問題を解決する30のアプローチ。子どもと学ぶ国際理解・権利学習の入門書。SDGs(持続可能な開発目標)を実践的に学べるヒントが満載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中で「子どもの権利」が奪われている 人身売買/児童婚/児童労働/子ども兵/少数民族など ・日本でも「子どもの権利」が守られていない 私をいじめないで/ベトナムからやってきた子ども/児童養護施設の子どもの原発事故で生まれ育った町に帰れない/LGBTの子どもたちなど ・「子どもの権利条約」で世界を変える! 戦争とコルチャック先生 ・子どもにとって一番いいことを優先する 	<p>1,980円 A5判/176頁</p>	
62	<p>「男の子でもできることみんなの未来とねがい」</p> <p>国際NGOプラン・インターナショナル著 西村書店</p>	<p>誰もが幸せに生きるために、人はみな同じ権利を持っています。誰もが自由にのびのびと生きられ世界のためにできることは? けれども世界には、家族や兄弟を支えるために、学校に行かせてもらえず、家事や労働をさせられたりする女の子がいます。みんなが自分の意見を自由に言えて、やりたいことができる世界にするにはどうしたらいいのでしょうか。大切な問いを投げかける写真絵本。</p>	<p>1,760円 23X29cm/26頁</p>	
63	<p>「ランカ にほんにやってきたおんなのこ」</p> <p>野呂きくえ著 偕成社</p>	<p>ランカは遠い国からやってきた10歳の女の子。日本の小学校に入ることになりました。とまどいながらも、違う習慣に一生懸命慣れようとしていますが、ある日ためこんでいた気持ちが爆発して…。言葉が通じないもどかしさと言葉だけではないうつなかりを、外国からきた子を長年支えてきた作家が描きます。</p>	<p>1,430円 23cm×25cm/32頁</p>	
64	<p>「そのこ」</p> <p>谷川俊太郎、塚本やすし著 晶文社</p>	<p>谷川俊太郎作。児童労働問題についての現実を描いた絵本。朗読動画あり。別売りで写真資料あり。世界中で約2億1500万人もの子どもが、自分の意思に反した労働を強いられています。遠く西アフリカのガーナでカカオを収穫している「そのこ」と、日本にいる「ぼく」との日常を描いた谷川俊太郎さんの詩が絵本になりました。</p>	<p>1,650円 B5判/32頁</p>	
65	<p>「チェンジの扉〜児童労働に向き合って気づいたこと〜」</p> <p>安田菜津紀著 集英社</p>	<p>人生は選択でき、変えることができる。誰もが、そのきっかけを持っている。「チェンジ」のストーリーは、多様性の社会を生きていく私たちへの示唆に富んでいる。希望を取り戻し、人生を変えた子どもたちの物語。</p> <p>第1章 大切なものって、なんだろう 第2章 勇気をくれる出会い・・・</p>	<p>1,540円 19cm/126頁</p>	

<p>66</p>	<p>「わたし8歳、職業、家事使用人。世界の児童労働者1億5200万人の1人」</p> <p>日下部尚徳著 合同出版</p>	<p>「家の中」で働く女の子たちは、どのような暮らしをしているのでしょうか。なぜ学校にも行かず「家事使用人」になるのでしょうか。世界にいる1億5200万人の児童労働者のうち、家事使用人として働かなければならない女の子のきびしい現実、直面する問題や課題、私たちに今なにができるのかを紹介します。</p>	<p>1,540円 A5版/144頁</p>	
<p>67</p>	<p>「ぼくは6歳、紅茶プランテーションで生まれて。スリランカ・農園労働者の現実から見えてくる不平等」</p> <p>栗原俊輔著 合同出版</p>	<p>ここで生まれた子どもには、未来の選択肢が1つしかない。母も父も祖母も祖父も、みんな農園労働者になってきた。19世紀からほとんど変わらない閉ざされた社会のシステム、くらしの環境、そして差別。スリランカの紅茶プランテーションでは、きょうも女性労働者は茶葉を手づみし、男性労働者は肉体労働に汗を流します。21世紀にもなって、それはあまりにアンフェアだ。日本で紅茶を飲む私たちにできること。</p>	<p>1,540円 A5版/142頁</p>	
<p>68</p>	<p>「990円のジーンズがつくられるのはなぜ？ファストファッションの工場で行っていること」</p> <p>長田華子著 合同出版</p>	<p>世界の縫製工場といわれるバングラデシュには、世界中のアパレル企業から大量に注文が殺到します。世界に販売網をもつH&M、GAPも、日本のユニクロにとっても激安商品の供給国なのです。1か月4000円ほどで働く女性たちの生活から、グローバル化した世界の現実が見えてきます。</p>	<p>1,540円 A5版/157頁</p>	
<p>69</p>	<p>「SDGs時代の国際協力ーアジアで共に学校をつくる」</p> <p>西村幹子著 岩波書店</p>	<p>子どもたちの「学校に行きたい!」を支えてーバングラデシュで学校づくりに取り組んできたNGOの活動を、日本からの参加者・現地の生徒たちの声とともに紹介します。支援する側・される側ではなく、互いに当事者として「協働」するパートナーシップとは?共に歩む未来をつくる、これからの国際協力を考えてみませんか。「岩波ジュニア新書」。</p>	<p>880円 18cm/166頁</p>	
<p>70</p>	<p>「すごいね!みんなの通学路」</p> <p>ローズマリー・マカーニー著 西村書店</p>	<p>世界のさまざまな地域に住む子どもたちは、どうやって学校に通っているのでしょうか。てくてく歩いて?バスや車に乗って?16か国の子どもたちの通学風景を紹介した写真絵本です。バス通学もあれば、船を漕いで通う子もいます。高い崖を登ったり、綱渡りのように川を渡ったり。水や机を運んでこなければいけない子もいます。いろいろな国の現実を知ることのできる、貴重な絵本です。巻頭にはノーベル平和賞受賞、マララさんの写真を収録。</p>	<p>1,650円 23×29cm/34頁</p>	

71	「ようこそみんなの世界へ 世界中の子どもたちばんざい」 モイラ・バターフィールド著 化学同人	世界の子もたちはどんなものを食べて、どんな服を着て、どんな遊びをして、どんな言葉を使っているの?世界に興味を持つ第一歩に! 世界中の子どもたちは文化も伝統も違って、とってもおもしろい。本の中に出てくるのは103の国と地域。 この本を読むと、世界中のいろんな国の子どもたちがどんな言葉を使っているか、どんなことをしているか、そして、自分とはどんなふうに違ってどんなところが同じなのかを知ることができます。	2,310円 30cm/64頁	
72	「さがす」 長倉洋海著 アリス館	世界中の子どもたちの姿を追った写真絵本。「さがす」をキーワードに、著者自身が、生きる意味を探しながら出会った子どもたちの姿です。紛争地で、寒暑それぞれ過酷な地で、人々の生きる力への驚きが、写真に迫ってきます。何より、多くの子どもたちの笑顔が素晴らしいです。それは、生きる力そのもの。自分の幸せを見つける人々の表情です。いろいろな国を訪れ、なぜこのような状況でも人は強く生き、笑顔が生まれるのかと問い続ける。	1,540円 26cm/38頁	SDGs 全般 
73	「写真で伝える仕事 世界の子もたちと向き合って」 安田菜津紀著 日本写真企画	「世界をもっと、優しい場所にしていくために」私たちには何ができるのだろうか。 「写真で伝える仕事」をするうえで大切にしていることから、世界各地で出会った子どもたちとの物語。そして、これからの時代を生きる中学生、高校生へ。世界は決して、悲しみや苦しみだけでできているわけではない。若きフォトジャーナリストから未来に向けたメッセージ。	1,019円 21cm/45頁	
74	「この世界を知るための大事な質問」 野澤巨伸著 宝島社	なぜ小学校に赤ちゃんが?ゴミの山に住むのにお金がかかる国がある?...写真とデータが語るものがたり。事実を知れば世界はきっと変わる。遠い世界の話ではなく、すぐそこにある子どもたちの「今」を映し出す一冊です。紛争地や貧困地域、災害地をはじめとする世界各地で子どもたちの姿を撮り続けているカメラマン・野澤巨伸氏の豊富な写真をもとに、世界で今なお続いている問題についてデータや事実を記し、やさしく解説。どれだけの子どもたちが、どんな毎日を生活しているのか。意外と知らない、この世界を正しく理解するための大事な事実が満載です。	1,650円 A5判/144頁	 
75	「チャーシューの月」 村中李衣著 小峰書店	6歳の明希が「あけぼの園」にやってきたのは、うすい雪が舞う2月のはじめだった。春から中学生になる美香の目を通して〈児童養護施設〉で暮らす子どもたちの日々の生活や子どもたちに寄り添う大人の姿が語られる。	1,650円 20cm/222頁	

76	<p>「へいわとせんそう」</p> <p>谷川俊太郎著 ブロンズ新社</p>	<p>戦争と平和とは何が変わるのか。敵と味方の違いは——。詩人・谷川俊太郎さんが人気イラストレーターと手がけた絵本。「戦争の手触り」を知る谷川さんだからこそ、こだわったポイントがあるという。絵本は左に「へいわのボク」、右に「せんそうのボク」と書かれた見開きのページから始まる。「へいわ(平和)」の方には笑顔の少年のイラストが描かれ、「せんそう(戦争)」の方に描かれた少年はつらそうな様子だ。</p>	<p>1,320円 18.5cm/32頁</p>	
77	<p>「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」</p> <p>ムヒカ著 汐文社</p>	<p>2012年、ブラジルのリオデジャネイロで国際会議が開かれました。環境が悪化した地球の未来について、話し合うためでした。世界中から集まった各国の代表者は、順番に意見をのべていきました。しかし、これといった名案は出ません。そんな会議も終わりに近づき、南米の国ウルグアイの番がやってきました。演説の壇上に立ったムヒカ大統領。質素な背広にネクタイなしのシャツすがたです。そう、かれは世界でいちばん貧しい大統領なのです。給料の大半を貧しい人のために寄付し、大統領の公邸には住まず、町からはなれた農場で奥さんとくらしています。花や野菜を作り、運転手つきの立派な車に乗るかわりに古びた愛車を自分で運転して、大統領の仕事に向かいます。身なりをかまうことなく働くムヒカ大統領を、ウルグアイの人びとは親しみをこめて「ペペ」とよんでいます。さて、ムヒカ大統領の演説が始まりました。会場の人たちは、小国の話にそれほど関心をいだいてはいないようでした。しかし演説が終わったとき、大きな拍手がわきおこったのです。</p>	<p>1,760円 25cm/32頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
78	<p>「未来をつくるあなたへ」</p> <p>中満泉著 岩波書店</p>	<p>核兵器、難民、環境、格差…。国際連合の事務次長として軍縮問題を担当する著者が、今、世界で起きている様々な課題と向き合い、平和な社会をつくるために、どうすれば核兵器を無くせるの？格差や不平等を減らすには？そして難民、気候変動、ジェンダーの問題……。さまざまな課題と向き合う人々の姿を紹介しながら、勇気をもって一歩を踏み出すことの大切さを伝えます。メッセージは「世界は必ず変えられる!」。「岩波ジュニアスタートブックス」。</p>	<p>1,595円 B6版/126頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
79	<p>「二番目の悪者」</p> <p>地林木林著 小さい書房</p>	<p>二番目の悪者。謎に満ちたタイトルです。また帯にも「考えない、行動しない、という罪」とあります。不敵に笑うワインを掲げたライオン。まるで哲学書のような意味深の真っ赤な絵本です。みんなから愛される銀色のライオン。彼を王様にさせまいと金色のライオンはある噂を流し始めたのです…。「嘘は、向こうから巧妙にやってくるが、真実は、自らがし求めなければ見つけれない」架空のお話ではなく、わたしたちが生きる現代への警鐘ともとれます。</p>	<p>1,540円 22cm/61頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 

80	<p>「学校では教えてくれない大切なこと(12) ネットのルール」</p> <p>関和之著 旺文社</p>	<p>今やインターネットは私たちの生活に欠かせないものになっています。インターネットのおかげで生活は便利になりましたが、その分、トラブルも増えています。この本では、そんなトラブルに巻き込まれないようにするための知識や注意点をマンガで楽しく学べるようになっていました。正しい知識を身につけて、マナーよく、安全にインターネットを使えるようになります。</p>	<p>935円 21cm/151頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
81	<p>「ともだち」</p> <p>谷川俊太郎著 玉川大学出版部</p>	<p>谷川俊太郎の珠玉の詩と、和田誠のほのぼのとしたイラストによる、幼児～小学校低学年向き絵本。よい友は一生の宝であり、生きて行くうえで友だちがいかに大切かということをやさしいことばと楽しい絵により、幼児にもわかりやすく語りかける。</p>	<p>1,320円 26cm/72頁</p>	<p>17</p> 
82	<p>「十歳のきみへー九十五歳のわたしから」</p> <p>日野原 重明著 富山県インターナショナル</p>	<p>いのちとは。家族とは。人間とは。親・子・孫の三世代三世代をつなぐロングセラー。こどもはもちろん、おとなにもおすすめしたい。日野原重明先生のことばが身に染みる1冊です。今だからこそ伝えたい、日野原先生の思い。寿命ってなんだろう！人間ってすごいね！家族のではなくまれるもの。きみにたくしたい平和の大切さ国語や道徳の教科書で取り上げられた名著こどもはもちろん、おとなにも勧めたい1冊。「生きるとは、からっぽのうつわのなかに、いのちを注ぐこと」。十歳の子どもたちに向けられた、やさしくわかりやすい文章で、日野原先生が語りかけています。</p>	<p>1,320円 19cm/200頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
83	<p>「いのちのおはなし」</p> <p>日野原重明著 講談社</p>	<p>95歳のわたしから、10歳のきみたちへ 「いのちは、どこにあると思いますか？」</p> <p>「いのち」や、いのちをどうつかおうかと決める「こころ」は見えませんが、見えないものこそ大切にすべきです。空気は見えませんが、人が生きるのに大切だということに似ています。——くあとがきより> 95歳の医師、日野原重明先生が小学校で行った「いのち」についての授業の絵本。</p>	<p>1,430円 21cm× 22cm/47頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 
84	<p>「10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉: 哲学者から学ぶ生きるヒント」</p> <p>岩村太郎著 絵本の社</p>	<p>「どうして勉強しなければいけないの?」「どうしていじめはなくなるしないの?」「生きていく意味はあるの?」学校の先生や親がなかなか答えられない、子どもが抱えるリアルな悩みや疑問を、哲学者の言葉をヒントに解決。哲学を通して子どもの考える力を育てる、必読の一冊。古代ギリシャから近代、現代の有名な哲学者の解説も。</p>	<p>1,650円 21cm/71頁</p>	<p>SDGs 全般</p> 

85	<p>「こども六法」</p> <p>山崎聡一郎著 弘文堂</p>	<p>子ども向けの法律書。法律はみんなを守るためにある。知っていれば大人に悩みを伝えて解決してもらうのに役立つよ。いじめ、虐待に悩んでいるきみへ、楯となる法律について、イラストとやさしい言葉で解説する。</p>	<p>1,320円 21cm/201頁</p>	
86	<p>「マンガで読み解く そして日本国憲法はつくられた」</p> <p>やまさき拓味著 創元社</p>	<p>日本国憲法の作成過程を、史実を忠実に再現しつつ、今なお完全に解明されていない歴史上の謎を解き明かしながら、マンガとコラムでわかりやすく解説する。日本国憲法全文も掲載。</p>	<p>1,540円 19cm/205頁</p>	
87	<p>「なぜ僕らは働くのか」</p> <p>池上彰監修 学研プラス</p>	<p>仕事ってなんだ？ どうやって働く？ 働くことの意味、生活にかかるお金、勉強することの意味、やりたいことの見つけ方などを、マンガを豊富に交えてわかりやすく解説する。</p>	<p>1,650円 21cm/227頁</p>	
88	<p>「こども手に職図鑑」</p> <p>子供の科学と手に職図鑑編集委員会 誠文堂新光社</p>	<p>自分の裁量で働けて再就職しやすく、年を取ってもできてAIに奪われない職業を集めた図鑑。AIに取って代わられない仕事100 一生モノの職業が一目でわかるマップ付</p>	<p>2,860円 26cm/239頁</p>	
89	<p>「はたらく」</p> <p>長倉洋海著 アリス館</p>	<p>人は何のために、はたらくのだろうか。真剣な眼差し、明るい笑顔。たくさんの人びとに出会い、見えてきたことは…。山の上で羊を育て、放牧する少年。両親のかわりに市場ではたらく少女。森の恵み、海の恵みで生きる人々。長倉さんが世界各地で出会った子供たちは、家族や仲間と助け合っている誇り、明るさ、生きる力に溢れていた。写真絵本。</p>	<p>1,540円 26cm/40頁</p>	
90	<p>「ガリガリ君ができるまで」</p> <p>岩貞るみこ著 講談社</p>	<p>「ガリガリ君は「熱いチャレンジ精神」でできている！ 発売以来、約40年にわたり、子どもたちの「No.1アイス」として大人気のガリガリ君。この本は、ガリガリ君がどのように作られ、みんなのもとへ届くのかがよくわかる、楽しいドキュメント小説です！</p>	<p>1,540円 20cm/183頁</p>	
91	<p>「零から0へ」</p> <p>まはら三桃著 ポプラ社</p>	<p>世界初の高速鉄道車両「初代新幹線」こと0系電車。その開発には、かつて戦争で人を殺める道具となった「ゼロ戦」の技術がつまっていた。国鉄一筋で働いてきた人たちと、旧日本軍からやってきた人たち。様々な人が「鉄道総合研究所」に集い、新型車両の開発に向き合う。「戦争」という大きな罪をそれぞれに抱え、それぞれにぶつかり合い、やがて生み出された新型車両。それは新たな「ゼロ」を継ぐ乗り物であった――。史実を元に描きあげた、熱い熱い物語。</p>	<p>1,760円 20cm/306頁</p>	

92	「日本のスゴイ科学者」 日本科学未来館編著 朝日学生新聞社	私たちが当たり前のように使っているものや知識は、この本に登場する29人の日本人科学者の発明や発見かもしれません。 医学、生物学、化学、物理学、地学 ... 1章 医学のスゴイ科学者（免疫でがん治療の常識くつがえす京都大学特別教授・本庶佑先生 研究の豆知識；攻撃止めるブレーキ細胞の発見—大阪大学教授・坂口志文先生 ...	1,650円 B5判/135頁	SDGs 全般 
93	「ほくたちはなぜ、学校へ行くのか。」 石井光太著 ポプラ社	学校行くことが当たり前の子供たちに、世の中には学校に行けない子供たちもいるんだと言ってもなかなか理解はできないものです。世界のどこかでいつも戦争があり、まずしい暮らしをしている人たちがたくさんいる。日本にも、まずしさはあるし、差別もある。虐待やいじめもある。それをなくすのは、かんたんなことではない。戦争はいけない、と言うだけでは戦争は止まらない。差別はいけない、と叫ぶだけでは差別はなくならない。マララさんが国際連合で行った演説から、子どもが学校へ通うことの意味を考える。大事な事が書かれている写真絵本です。	1,650円 27cm/63頁	
94	「こども「学問のすすめ」」 齋藤孝著 筑摩書房	「どうして勉強するの？」子どもの疑問に答える形で『学問のすすめ』のエッセンスを齋藤孝が抜き出す。小学校一年生から楽しく読める。第1章 どうして勉強するんだろう（「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」といへり；賢人と愚人との別は、学ぶと学ばざるとによりて出来るものなり ほか）第2章 あなたの夢は何ですか（蟻の門人となるなかれ；一人にてこの日本国を維持するの気力を養ひ、 ほか）第3章 まわりの人や、お金とのつきあい方（およそ人間に不徳の箇条多しといへども、；フランキリンいへることなり、 ほか）第4章 日本で生きるってどういうことだろう（人に依頼する者は、必ず人を恐る。；独立の気力なき者は、国を思ふこと深切ならず ほか）	1,650円 21cm/111頁	

※備考欄のSDGsマークについて。各図書は、様々なSDGs目標に関係していることも多いため、主なものを掲載しました。

作成：認定NPO法人川口市市民環境会議
協力：川口市内小中学校図書館司書 増田知佳氏